輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind

昨日、おの検定実施！明日は、中番フェスティバル!!

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

11 月 22 日は、二十四節気でいう「**小雪（しょうせつ)**」、冬も進み、北国より雪の便りが聞かれる頃。また、23 日は、七十二候でいう「**虹蔵不見（にじかくれてみえず)**」、陰気が満ちて虹が現れなくなる頃となりました。季節は留まることなく移ろいゆくものです。先日のサッカーワールドカップ、日本対ドイツ戦。夜遅くまでご覧になった方もおられたのではないでしょうか。見事に初戦を逆転で飾りました。サッカー好きでなくとも日本代表チームの活躍、勝利は大変嬉しいものだと思います。

さて、昨日は子供達が毎日しっかりと取り組んできた「**おの検定**」でした。各教室を見ましたが、**どの教室もしっかりと課題に向き合っていました。**いいですね。静かな教室環境、聞こえてくるのは鉛筆が走る音だけです。そこには、張り詰めた緊張感が漲っています。漢字であれば、「はね」「とめ」「はらい」等、漢字の構成要素をしっかりと理解し、そのポイントを押さえて書くことが大切です。また、勢い余ってはみ出す、くっ付いてしまう、別の字と重なってしまう･･･、これは、鉛筆を走らせるスピードが重要であることを示しています。字を書くスピード、それを適度な速さに制御できることも大切な技能の一つだと思います。さらに、枠からはみ出さないようにすることや書き直しの際には、跡が残らないように、丁寧に、きれいに消すことができることも大切な技能です。何を細かなことを･･･と思われる方もおられるかと思います。でも、こういった細やかなことにも配慮できる、意識できる子供達であって欲しいと願っています。このおの検定の目標は、決められて範囲のものを、計画的に、自分で学習することです。子供達が自分で学習する方法を考えられることもこれからの大切な力だと考えています。ご家庭でも子供達にご支援とご協力を賜りましたこと、大変ありがたく嬉しく思っております。誠にありがとうございました。

昨日、中番フェスティバルのステージ発表相互鑑賞会をしました。自分達が頑張ってきたことを見てもらう最初の舞台、１st ステージでした。どの学年の子供達も張り切って頑張っていました。子供達、一人一人の頑張りが伝わってきて、大変嬉しく思いました。子供達の各ステージを見ながら、１・２年生の群読を聴き、**子供達がしっかりと足を地に付け、未来へ向かって歩く姿**を想像しました。３・４年生のカントリーロードを聴き、**子供達が歩く、大自然の中のまっすぐに続く道**を想像しました。５・６年生の力強く響く伝統の誉田太鼓を聴き、**この真っ直ぐな道は、中番小学校、「ふるさと中番」に続いている**と実感しました。この中番フェスティバルでは、仲間と一つのものを創り上げることが大きな目標です。そこには、一人一人が任された役割・仕事があります。そして、その役割を真摯に受け止め、その責任を誠実に果たすことが重要です。子供達にとっては、大きな大きな試練、断崖絶壁となります。この**中番フェスティバルでは、誰もが「表現者」です。**見てくださる方に、自分達の思いを、願いを、届けることです。昨日、全ての演奏が終わった時、子供達に話す機会がありました。子供達には、よく頑張ったこと、いいものが出来上がったことを嬉しく思っていることを伝えました。そして、明日の中番フェスティバル本番の２ステージでは、「**魂を込めて**」と話しました。小さい学年の子供達に「魂」は少し難しい言葉です。しかし、自分が「表現者」として、精一杯頑張る為の言葉として贈りました。明日が楽しみです。

新型コロナウイルス感染症については、なかなか収束とはいかず、心配な状況が続いています。**中番小学校としては、「恐れず、正しく、適切に。」を基本に据え、日々の感染対策を徹底していきます。**保護者の皆様には、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。